

巻菱湖の名前の由来

巻菱湖の姓は巻、諱は大任（おほに）、字は致遠、号は弘斎・菱湖といい、幼名を喜藤太、通称を右内、初字を伯毅、一字を起巖といった。

字とは実名以外につけた名前のことで、号とは画家や学者などが本名以外につける風雅な名のことである。この大任・伯毅・致遠・弘斎という名字や号は、論語泰伯に見える曾子の語、「士不可以不弘毅、任重而道遠、仁以為己任、不亦重乎、死而後已、不亦遠乎」とあるのにもとづくものであろう。

その大意は、『曾子曰く、「道に志し、学問・修養につとめる人は、度量が広く、意志が強固でなければならない。なぜかというとその任務は重大で、その道のりは遠いからである。道に志し、学問・修養につとめる人は仁道を体得し、それを世に広めることを、自己の任務としている。なんと重いことではないか。しかも、その任務を果たすためには死ぬまでやめなくて続けなくてはならない。なんと遠いことではないか」と。』である。

菱湖という号の由来は、巻町出身ということと、巻町には当時、鰻漕がありそこでは多くの菱の実が取れたということから使用したといわれている。

先行文献抜粋



江戸時代後期頃に相撲の番付表が発表され、世間で大きな評判を呼んだ。この番付表を基にして、様々な番付が作られ、当時の庶民の情報源として親しまれた。

番付のジャンルは、名所・祭り・料理屋などあらゆるものを番付表に見立て、順位付けがされた。番付は、当時の流行・文化・世相など江戸の庶民文化を知ることが出来る貴重な資料である。

左の番付は、「海内當世書家競」と呼ばれた書家の番付になる。江戸時代後期の1800年頃のもので、東の大関が頼山陽・西の大関が巻菱湖となっている。江戸時代は、横綱がなく大関が最高位であった。

会 期 / 2020年10月1日(木)～11月30日(月)

会 場 / 水と土の文化ギャラリー (ゆいぽーと2階)

新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7 (旧二葉中学校)

開館時間 / 9:00～21:30

休 館 日 / 10月26日(月)・11月16日(月)

※ 新型コロナウイルスの感染状況により変更になる可能性があります。
また感染防止対策のため、マスクの着用と手指の消毒および来館者の連絡先等の記載にご協力ください。
その他、施設の利用ガイドラインに沿った行動をお願いいたします。詳しくはホームページ等でご確認下さい。

T E L / 025-201-7530

ゆいぽーとホームページ
<https://www.yui-port.com>



江戸の書 巻菱湖展 専用サイト
<https://www.maki-ryouko.jp/yiporto.html>



【関連事業】

めだかの学校 / 10月3日(土) 14:00～15:30 講座「巻菱湖」(講師 / 巻菱湖記念時代館 顧問・磯島瑛俊氏) / 定員20名程度・要予約・参加費300円

主 催 / 新潟市芸術創造村・国際青少年センター (ゆいぽーと)
連 携 / 巻菱湖記念時代館
指定管理者 / 環境をサポートする株式会社きらめき

※ ゆいぽーとの駐車場は台数が限られております。お越しの際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

水習字・書道
体験コーナー設置!!



巻菱湖の文字を書いてみよう!
会場内の習字手本で書道体験ができます。

書道日本一

江戸の書

巻菱湖

【まきりょうこ】

®

展

2020

10.1 ▶ 11.30

入場無料

水と土の文化ギャラリー

(ゆいぽーと2階)

新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7 (旧二葉中学校)

【関連事業】

めだかの学校 / 10月3日(土) 14:00～15:30

講座「巻菱湖」(講師 / 巻菱湖記念時代館 顧問・磯島瑛俊氏)
定員20名程度・要予約・参加費300円

主 催 / 新潟市芸術創造村・国際青少年センター (ゆいぽーと)
連 携 / 巻菱湖記念時代館
指定管理者 / 環境をサポートする株式会社きらめき



▶ 『七大家合作』 / 巻菱湖記念時代館蔵 (ゆいぽーと展示)